

# 市民のための音楽講座

～東京フィルハーモニー交響楽団の皆さんをお迎えして

東京フィルハーモニー交響楽団の  
メンバーによる弦楽五重奏

CONCERT &  
LECTURE  
VOL.2

曲目

クライスラー：愛の喜び

山田耕筰：弦楽四重奏曲

ドビュッシー：弦楽四重奏曲 ト短調より第3楽章

バッハ：2つのヴァイオリンのための協奏曲 ニ短調BWV 1043より第1楽章

※やむを得ない事情により、出演者、曲目が変更となる場合がございます。



宮川正雪 (ヴァイオリン)



杉浦 文 (ヴィオラ)



近藤 薫 (ヴァイオリン)



黒川実咲 (チェロ)



片岡夢児 (コントラバス)

2027年 1月30日(土)

15:00開演 (14:30開場)

刈谷市総合文化センター  
小ホール

全席指定 : 1,000円

※未就学児入場不可

チケット発売 / 10月31日(土)10:00～

プレイガイド

刈谷市総合文化センター

■窓口 10:00～21:00 ※電話予約・申込不可

■オンラインチケットサービス

刈谷駅前観光案内所 10:00～18:00

※電話予約・申込不可

※チケット購入時には手数料が必要となる場合がございます。

※チケット購入後の変更・キャンセル不可。

※託児サービスあり(有料)。お申込みは公演の一週間前までに特定非  
営利活動法人ONE STEP(0566-24-7022)まで。

※車いす席をご希望の方は、刈谷市総合文化センターまで。

東京フィルハーモニー交響楽団講座  
「オーケストラの変容」第2回：弦楽器

日本のオーケストラ・クラシック音楽の受容史

日本は、世界の中でもクラシック音楽を愛する人が多い国として知られています。西洋から遠く離れた日本で、なぜクラシック音楽は広く受容されるようになったのでしょうか。その背景には、明治時代の日本が直面していた社会的な課題と、近代化への歩みがありました。本講座では、東京フィルハーモニー交響楽団コンサートマスター・近藤 薫のナビゲートと演奏を交えながら、日本におけるオーケストラとクラシック音楽の受容の歴史をひも解きます。日本のクラシック音楽史を切り拓いた山田耕筰の作品をはじめ、明治の時代に「いとう呉服店(現・松坂屋)」の少年音楽隊として産声をあげ、現在の東京フィルハーモニー交響楽団へとつながる音楽の歩みにも光を当てます。激動の日本近代史の中で、クラシック音楽はいかなる役割を担い、人々に何をもたらしたのか。その歩みを、演奏とともに掘り下げます。

次回  
予告

2027年2月28日(日)開催

第3回：金管楽器

講演内容：「現代のオーケストラシーン」

発売日：2026年11月29日(日)10:00～

お問合せ 刈谷市総合文化センター

〒448-0858 刈谷市若松町2-104 TEL. 0566-21-7430(受付9:00～21:45)

主催：刈谷市・刈谷市教育委員会・刈谷市総合文化センター(指定管理者：ツールツリーグループ)



公式HP・SNS